

ロール・プレイング演習を交え、実践的に学ぶ

内部通報担当者のための「相談受付」と「ヒアリング調査」のノウハウ

《開催要領》 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2019年3月14日(木) 13:00~17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

《開催にあたって》

内部通報制度は、企業の自浄作用により不正行為の防止と早期発見を図る重要な仕組みです。ですが、実際に相談を受け付け、関係者からヒアリングを行うのは容易ではありません。「相談したら何か不利益があるのではないかと」心配している相談者にどのように信頼してもらうか、不正を行ったとされる社員からのヒアリングに向けてどのように準備するか、関係者からのヒアリング調査の結果からどのように事実を認定するかなど、担当者には様々な局面で悩みがあります。本セミナーでは、過去11年間に700件以上の内部通報を受け付けてきた弁護士立場から、ヒアリング調査のノウハウをお伝えします。受講者の皆様には、「相談者役」「聞き取り役」「メモ作成役」「観察役」に分かれていただき、ヒアリングのロール・プレイングをしていただきます。また、ヒアリングの結果からどのような事実を認定するか皆様にディスカッションしていただき、その結論を相談者にフィードバックする場面まで、ロール・プレイングしていただきます。一つの案件が解決に至るまでのプロセス全体を体験することができます。内部通報担当部署に新たに就任された方や、相談受付・調査について実践的な訓練を積みたいとお考えの方々にお勧めのセミナーです。

講師 中島経営法律事務所 パートナー 弁護士 寺田 寛 氏

1979年生まれ。2002年早稲田大学法学部卒業。2005年、弁護士登録、同年、中島経営法律事務所入所。一般的な企業法務のほか、企業不祥事の際の危機管理広報、社内調査、行政処分へ対応など、リスク・マネジメント業務を数多く扱う。コンプライアンス関連業務としては、企業行動基準、社内規程等の策定に関与。内部通報制度の設計、利用促進へのアドバイスに加え、社外窓口の受付業務にも豊富な経験をもつ。2017年9月には、所属事務所のパートナー弁護士と共に内部通報制度の運営に関する知識とノウハウの集大成として「ホットラインのすべて一立上げ・運用全マニュアル」を商事法務より刊行。

《申込方法》 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用状況(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員 34,560円(本体価格 32,000円) 一般 37,800円(本体価格 35,000円)

182081-0303 内部通報担当者のための「相談受付」と「ヒアリング調査」のノウハウ			
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 役	属 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル 2F

・プログラム・

第1. ヒアリング調査のノウハウ(講義)

1. 内部通報制度の目的の確認
2. 相談受付のポイント
3. 客観的証拠の収集
4. 被通報者・関係第三者からのヒアリング調査のポイント
5. 相談者へのフィードバックのポイント

第2. 過去700件以上の内部通報を受け付けてきた弁護士監修による演習

- ・架空の営業所での出来事を題材として演習(テーマはハラスメント、横領など)
- ※テーマは当日お知らせいたします。

1. 相談受付の演習

- (1) ヒアリング事項の検討
- (2) ヒアリング演習
- (3) 結果発表・講評

2. 被通報者からのヒアリング演習

- (1) 客観的資料の検討
- (2) ヒアリング事項の検討
- (3) ヒアリング演習
- (4) 結果発表・講評

3. 関係第三者からのヒアリング結果の分析

- (1) ヒアリング結果一覧表の検討
- (2) 事実認定のためのディスカッション
- (3) 処分決定のためのディスカッション
- (4) 結果発表・講評

4. 相談者へのフィードバック

- (1) フィードバック事項の検討
- (2) フィードバックに対する相談者からのリアクションへの対応
- (3) 結果発表・講評

第3. 質疑応答

※当日のご参加人数により講義内容を変更する場合がございます。
※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。